

■ ふるさと常盤から町のすてきを探そう（常盤小学校）

1 【活動の趣旨】

児童が地域の方と一緒に校区を回ること、校区の新たな一面を知ったり、地域への愛着を深めたりする。

2 【特徴的な活動内容】

○「つながるよさ」を生み出した活動（特徴的な活動）

- ・ 5年生が植えた苗を町たんけんの道中に見ることで、地域に関わる他学年の取組にも触れることができた。
- ・ 登下校の道中にあり、児童があまり知らない店に見学に行くことで、新たな地域とのつながりができ、登下校でのあいさつ等が活発になり、地域で自然と見守りが増えることで児童の安全につながったりすることができた。



【町たんけんで5年生が植えた苗を発見】

3 【実施に当たっての工夫】

1回目の町たんけんで多くの場所に訪れた後、児童が更に詳しく知りたい場所を自ら選択し、方面別に分かれて町たんけんをすることで、児童の関心を更に高めることにつながったと考える。

4 【事業の成果】

- ・ 事前に地域コーディネーターと担任、学校担当で地域の方々の「ふるさと常盤」を愛する気持ちや、後世に伝えていきたいという思いが児童に伝わるように、目の前の児童に何を学ばせることが必要か相談してきた。
- ・ 住んでいる町内だけにとどまらず、校区にある様々な町内を巡る活動を通して、「ふるさと常盤」に対する思いがさらに深くなった。



【方面別に行った町たんけん】

5 【事業の今後の展望】

地域の方々との授業前の打ち合わせによって、授業はスムーズに進むものが多かった一方で、授業後のふり返りの時間をとることは難しかった。地域コーディネーターや授業支援の方々が入れ替わったとしても、連絡や段取り等が引き継げるように、記録の方法を工夫していく必要性を感じた。

地域コーディネーターの交代、各事業でお世話になっているボランティアの方々の高齢化による活動内容の精選や、教職員の人数が少ないことから同行する教職員の予測不能なことへの対応に追われ、じっくりまとめができない実態があった。しかし、地域コーディネーターの方をはじめ、参加してくださった地域の方の協力的な姿、学校運営協議会の方々の支えがあったからこそ、計画していた地域学習を大幅に縮小することなくできたことは、感謝の一言に尽きる。